



MOBCAST



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社モブキャスト 上場取引所 東
 コード番号 3664 URL <http://mobcast.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪 考樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐武 利治 (TEL) 03-5414-6830
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の業績 (平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	676	—	△249	—	△258	—	△237	—
28年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△14.73	—
28年12月期第1四半期	—	—

(注) 平成28年12月期第1四半期は、連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	3,033	1,879	62.0
28年12月期	3,780	2,140	56.0

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 1,879百万円 28年12月期 2,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 平成29年12月期の配当予想につきましては、現在未定です。

3. 平成29年12月期の業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

当社が属する業界は、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期 1 Q	16,098,008株	28年12月期	16,095,008株
29年12月期 1 Q	—株	28年12月期	—株
29年12月期 1 Q	16,095,386株	28年12月期 1 Q	14,613,566株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績装うの前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、TDnetで同日開示しております。また、当社は、平成29年5月11日 (木) に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界のゲーム市場規模は依然拡大を続けており、平成27年から平成31年にかけて6.6%成長する見込みであります。平成28年のその市場規模は約11兆6,034億円(9,960億ドル;平成28年12月末レートを参照し1ドル=116.5円として換算)であり、市場シェアは中国、日本を含むアジア太平洋地域が46.8%、アメリカ、カナダの北米地域が25.5%、ドイツ、イギリスを含む西ヨーロッパが17.4%を占めております。平成27年から平成28年の地域別の成長率については、北米は4.1%、西ヨーロッパは4.4%であるのに対し、アジア太平洋地域は10.7%であり、シェアの大きいアジア太平洋地域を中心に、ゲーム市場の拡大はこの先も続くものと見込まれます(平成28年Newzoo社調べ)。

このような事業環境の下、当社はネイティブゲームの運営強化及び新規タイトルの開発、海外事業の推進及びブラウザゲームの運営効率化に取り組みました。

ネイティブゲームの運営強化につきましては、「18 キミト ツナガル パズル」においては引き続きアニメIP、声優等とのコラボを毎月実施した他、3月には配信開始2周年キャンペーンを実施しました。「LUMINES パズル&ミュージック」につきましては、株式会社バンダイナムコエンターテインメント社の「カタログIPオープン化プロジェクト」参加企画として「バックマン」等のゲームIPとのコラボPACKを日本国内に向けて配信いたしました。また、新規タイトルの開発につきましては、「キングダム 乱 -天下統一への道- (旧称「Project OK」)」の事前登録を3月9日に、また、「モバプロ2 レジェンド (旧称「Project LEGEND」)」の事前登録を3月23日に開始いたしました。さらに、海外事業の推進につきましては、昨年12月に配信を開始した「魔法少女 まどか☆マギカ」の中国での運営を管理、サポートするとともに、開発中の「モバサカ CHAMPIONS MANAGER (旧称「Project CMM」)」の配信開始に向け準備を進めました。ブラウザゲームの運営効率化につきましては、昨年に引き続き、株式会社マイネットエンターテインメントとの共同運営体制による効率運営を継続しております。

しかしながら、売上高につきましては、海外配信売上が当第1四半期累計期間より計上されはじめたものの、主力であるブラウザゲーム市場の縮小に伴う売上高の減衰により、当第1四半期累計期間の売上高は676,545千円となりました。また、広告宣伝費及び人件費の抑制を中心とする販売管理費の削減を行ったものの、販売実績及び今後開発されるパズルゲームのプラットフォーム戦略を鑑み「LUMINES パズル&ミュージック」に関するソフトウェア等の資産112,529千円の早期償却を実施したことにより、営業損失は249,833千円となりました。

さらに、営業外収益として受取利息34千円等、営業外費用として外貨建て債権債務を当第1四半期会計期間末の為替レートで評価したこと等による為替差損5,611千円等を計上した結果、経常損失は258,511千円となりました。また、特別利益として、平成27年6月に発行決議をした業績連動型有償ストック・オプション(新株予約権)が行使条件に該当しなくなったことにより消滅したことから新株予約権戻入益24,975千円を計上し、特別損失として役員退職慰労金3,000千円を計上したことにより、税引前四半期純損失は236,536千円、四半期純損失は237,109千円となりました。

なお、前第1四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期の比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末より747,218千円減少し、3,033,022千円となりました。主な内訳は「現金及び預金」が703,319千円及び「売掛金」が181,013千円減少し、「前払費用」が111,316千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末より485,754千円減少し、1,153,994千円となりました。主な内訳は「短期借入金」が108,331千円、「未払金」が84,294千円、「長期借入金」が82,736千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末より261,464千円減少し、1,879,028千円となりました。主な内訳は、「資本剰余金」が1,331,368千円減少し、「利益剰余金」が1,094,569千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期につきましては、引き続きネイティブゲームの運営強化と新規タイトルの開発、海外事業の推進及びブラウザゲームの運営効率化に取り組んでまいります。ネイティブゲームの運営強化につきましては、前事業年度に効果のあったコラボ施策をさらに推し進めてまいります。また、新規タイトルの開発につきましては、現在開発中の「モバプロ2 レジェンド」、「キングダム 乱-天下統一への道-」についてはそれぞれ平成29年第2四半期、及び平成29年第3四半期での配信開始を予定しており、さらに、平成29年度中に「Project SM」、「Project LIP」の配信開始も予定しております。海外事業の推進につきましては、海外パートナー企業との共同開発タイトル「モバサカ CHAMPIONS MANAGER」の配信開始に向け準備を進めるとともに、これまで構築してきた国内外のネットワークを基盤として、国内有力IPを用いた新規タイトルの共同開発契約、自社開発ゲームのライセンスアウト契約の締結を進めます。ブラウザゲームの運営効率化につきましては、株式会社マイネットエンターテインメントとの共同運営の深耕により更なる効率化を進めてまいります。

以上を踏まえた当期の売上高及び利益予想に関しましては、当社が属する市場が事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、業績予想については開示しない方針です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,455,755	1,752,435
売掛金	515,284	334,271
前払費用	106,205	217,522
その他	10,263	10,468
貸倒引当金	△43,865	△131
流動資産合計	3,043,642	2,314,566
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	16,713	15,940
工具、器具及び備品(純額)	25,589	23,807
有形固定資産合計	42,302	39,747
無形固定資産		
ソフトウェア	215,975	93,553
ソフトウェア仮勘定	251,000	328,771
特許権	371	339
商標権	1,411	1,355
その他	1,125	3,033
無形固定資産合計	469,885	427,053
投資その他の資産		
投資有価証券	30,003	30,003
関係会社株式	120,455	120,455
出資金	—	26,754
敷金	73,751	73,431
破産更生債権等	6,300	6,300
その他	200	1,010
貸倒引当金	△6,300	△6,300
投資その他の資産合計	224,410	251,654
固定資産合計	736,598	718,456
資産合計	3,780,241	3,033,022

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	200,000	91,669
1年内償還予定の社債	99,600	49,500
1年内返済予定の長期借入金	465,853	407,754
未払金	349,199	264,905
未払費用	18,469	9,579
未払法人税等	8,739	2,316
未払消費税等	40,242	3,369
前受金	140,485	94,181
預り金	19,020	15,317
流動負債合計	1,341,611	938,592
固定負債		
長期借入金	298,138	215,402
固定負債合計	298,138	215,402
負債合計	1,639,749	1,153,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,749,057	1,749,367
資本剰余金	1,698,719	367,351
利益剰余金	△1,331,678	△237,109
株主資本合計	2,116,098	1,879,609
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△581	△581
評価・換算差額等合計	△581	△581
新株予約権	24,975	—
純資産合計	2,140,492	1,879,028
負債純資産合計	3,780,241	3,033,022

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	676,545
売上原価	642,395
売上総利益	34,149
販売費及び一般管理費	283,982
営業損失(△)	△249,833
営業外収益	
受取利息	34
その他	380
営業外収益合計	414
営業外費用	
支払利息	2,267
為替差損	5,611
株式交付費	43
その他	1,170
営業外費用合計	9,092
経常損失(△)	△258,511
特別利益	
新株予約権戻入益	24,975
特別利益合計	24,975
特別損失	
役員退職慰労金	3,000
特別損失合計	3,000
税引前四半期純損失(△)	△236,536
法人税等	572
四半期純損失(△)	△237,109

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当社は、平成29年3月24日付当社株主総会にて、平成29年3月31日を効力発生日として、資本準備金の額1,582,606千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振替え、会社法第452条の規定に基づき、資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金1,331,678千円を減少して繰越利益剰余金に振替え、欠損の補填を行っております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本剰余金が1,331,678千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、モバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。